

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

生徒の部活動は自由参加に

中学校再編委員会統報 (部活動方針について)

3月17日、中学校再編委員会に部活動の令和4年度・令和5年度の方針が示され、確認されました。この方針には様々な問題があります。統合中学校での今後の部活動方針について、生徒、教師それぞれの課題と問題点について考えます。

南知多町の新中学校部活動方針は裏面の通りです。すでに家庭に配られた「再編だより」から転載します。再編だよりもご覧いただき、みなさんと考えていきたいと思えます。

生徒に部活動参加は強制でないことを知らせて

教育委員会の統合中学校の部活動方針(今後の南知多町における学校教育R4年1月25日)には、部活動の自由参加の方針がありません。再編計画もそれに従っています。

学習指導要領によれば、部活動は「生徒の自主的、自発的な参加により行われる」とされており、制度上「参加は任意である」とされています。しかし、南知多町では、少なくとも中学校で事実上強制が前提の方針になっていないでしょうか。

平成30年3月にスポーツ庁、12月に文化庁がそれぞれ「運動部・文化部の活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定し、部活動への参加を強制しないよう、留意しなければならぬことが明記されました。高校入試の内申書記載を理由にした誘導も、許



内海中学校

されません。中学校に入ったなら、入部が「暗黙のルール」とされている実態を解消し、たとえ少数でも、部活動への参加を希望しない生徒の権利を侵害する現状は、早期に解消されることが必要です。

部活動は生徒の自主的・自発的な参加により行われるもの

部活動が教育課程外であると正しく認識できている現任教員は56%しかないという調査結果(内田良「部活動の社会学」岩波書店2021)もあることから、改めて部活動が教育課程外であり、生徒にも教員にも強制してはならないことを、教育委員会や再編委員会の認識とすべきです。子どもには部活動参加は選べるべきこと、教員には部活動指導を校長が強制できないことを周知すべきです。教育課程において、子どもの権利並びに子どもが主体的に判断し行動できる教育環境の重要性を教えるべきです。

また、「保護者からの圧力で部活動を縮小できない」とする意見もあることから、本来、部活動が「生徒の自主的、自発的な参加により行われる」活動であることをこの統合計画を利用して改めて町民や教師・子どもたちへ周知させることが必要と考えます。

休日の指導は

外部指導員の確保を

部活動再編方針では、令和4年度から4中合同での部活も提案されています。特に休日や長期休業中を利用して十分な条件付けすることなく、できることは大いに合同部活動を推奨していることは問題です。誰がどのように指導するのか、結局、内海中学校(南知多中学校)の教員に日曜日に出てきて指導せよというのでしょうか。

南知多町の再編委員会が、南知多町の中学校の部活動担当教職員へのアンケート結果(中学校再編部活動原案について顧問意見集約 R4.3.17)でも「教員の働き方改革に見合った活動内容にしてほしい」「外部指導者の確保を進めてもらいたい」「中学校再編を部活動のあり方を見直すチャンスにしたい」等切実な内容が回答されています。

仮に、日曜日に「部活動」を実施するならば、外部指導員、もしくは、外部指導組織を立ち上げるべきであり、その準備をするべきです。



文科省の部活動地域移行計画の実行を

令和5年度は、文科省の部活動の地域移行計画(裏面参照)の初年度です。部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、部活動改革の第一歩として、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境をつくることこそ、町長・教育委員会の役割です。教師の無償労働により支えられてきた部活動は、100時間を超える長時間勤務の原因でもあり、特に指導経験のない教師には、本務の教科指導を横に置かざるを得ない多大な負担となっています。

一方で、生徒の活動機会を確保するためには、休日における地域スポーツ・文化活動を実施できる環境を整備することが求められています。新中学校再編は、この部活動を改善させるチャンスと行政がとらえていただきたいものです。



生徒が放課後や休日に部活動だけでなく自由で豊かに過ごせる保障を

成長段階にある中学生が主体的な学習活動に取り組み時間の確保が重要です。放課後や休日のバランスの取れた生活を過ごすことを保障すべきです。

土日なし部活動指導に疲れ果て

学校がブラック企業と言われる。その理由の一つが、土日もなく部活動指導をしなければならないことである。日本の未来のためにも教員の働き方を改善し、教員希望者の減少を止めなければ。

(川柳コーナー)